

令和6年11月9日からの大雨について（第2報）

1 厚生労働省における対応

- (1) 11/9 02:40 厚生労働省災害情報連絡室設置

2 医療関係

- (1) 医療関係全般（11月9日 15時00分時点）
11月9日 鹿児島県 EMIS 警戒モードに切り替え。

- (2) 医療施設の被害状況（11月9日 15時00分時点）
現時点で被害報告無し。

- (3) 医薬品・医療機器製造販売業、卸売製造販売業関係
現時点で被害報告無し。

3 社会福祉施設等関係

九州地方の各県・指定都市・中核市に対し、大雨の影響による社会福祉施設等の被害情報の収集体制の確保や停電時の支援体制の確認とともに、速やかな被害状況等の把握と情報提供を依頼。

併せて、県等を通じて、社会福祉施設等の管理者に対し、気象・防災情報やハザードマップに留意しつつ、早期避難など必要な対策をとるよう注意喚起を依頼。（11/9）

- (1) 高齢者関係施設の被害状況
現時点で被害報告無し。

- (2) 障害者関係施設の被害状況
現時点で被害報告無し。

4 保健・衛生関係

- (1) 人工透析患者の安否
各都道府県に対し、透析医療の提供が困難となる事態にも対応できるよう注意喚起を行うとともに、被害状況確認の連絡体制確保を要請した。また、日本透析医会に対し、情報共有について協力を依頼した。（11/9）
現時点で被害報告無し。

(2) 人工呼吸器使用者の安否
現時点で被害報告無し。

(3) 被災者の健康管理

鹿児島県、沖縄県に対し、連絡体制の確保を要請 (11/9)。

現時点で保健所の被害報告無し。

5 薬局、輸血用血液製剤、毒物劇物関係

(1) 薬局、薬剤師

都道府県等に対し、注意喚起するとともに、薬局の被害状況を把握した
場合には報告するよう依頼した。現時点で被害報告なし。(11/9)

(2) 輸血用血液製剤の供給
現時点で被害報告無し。

(3) 毒物劇物
現時点で被害報告無し。

以上